

2005年6月16日

階段段差識別シールの整備について

ＪＲ東日本では、目の不自由なお客様に駅を安心してご利用していただくために、駅の階段段差が識別しやすいシールを整備していきます。

○これまでの経緯

これまで一部の首都圏駅で階段の段差を識別するシールを整備してきましたが、目の不自由なお客様より「もっとわかりやすくしてほしい」という声を受け、検討を進めてまいりました。このたび階段段差が識別しやすいシールのデザインや耐久性の向上など技術開発の成果がまとまり実用化可能な段階になったので整備を推進していきます。

○表示方法について

- ・黄色（黒色エッジ付）シールを階段に貼付します。
- ・階段上下と踊場前後の段差先端部は、階段全体にわたってシールを貼付します。
- ・階段上下と踊場前後の段差先端部以外の階段には、階段両端部の50cmにシールを貼付します。

○整備のスケジュール

2005年8月より順次整備し、2007年度中までに完了予定

○対象駅

交通バリアフリー法に基づく乗降人員5千人／日以上駅の駅、約470駅



階段全体



階段両端